

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年11月5日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	いわき陸運株式会社
所在地	〒979-0155 福島県いわき市三沢町沼平 59 番地
代表者役職・氏名	代表取締役 松原 健三
担当者連絡先	電話：0246-78-1690 (担当：下山田)
	メール： k-shimoyamada@iwaki-riku.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.iwaki-riku.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は、1973年に設立し地域最大級の倉庫を基盤とした貨物の保管・荷役、輸送は陸上から海上までお客様のニーズに合わせた物流サービスを提供しています。</p> <p>陸上輸送に留まらず、RORO船を活用した海上輸送を活用することで全国各地へ安定した輸送サービスを提供すると共に、2024年問題を踏まえた輸送体制構築に日々取り組んでいます。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境負荷の少ない設備の導入 CO2排出量削減を図る取組みの実施	・グリーン経営認証制度への登録継続 ・新長期排ガス規制適合車、エコタイヤ、アイドリングストップ支援機器導入の継続 ・電気使用量削減 【目標】2023年度比10%削減
□環境 ✓社会 □経済	健康経営の推進	・定期健康診断受診率【現状100%】継続 ・ストレスチェック回答率【現状100%】継続 ・健康経営優良法人認定 継続
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランスの充実 ・年次有給休暇取得促進 ・時間外労働時間削減	有給休暇取得率 【2023年度】51% 【目標】70% 時間外労働時間 【2023年度】11時間 【目標】8時間

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している ・産休、育休休暇の取得推進					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している ・総務部長を相談窓口としている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・有給休暇の時間単位取得、保存年次有給休暇制度を導入し、有給休暇の取得推奨をしている ・安全衛生委員会で個人別残業時間、運転手拘束時間を共有し、会社全体で長時間労働を防止								8.5 8.8									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している																		
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・火災予防への取組の周知(定期的な消防訓練の実施) ・交通安全への取組の周知 ・安全衛生委員会や安全会議での社内環境、労働環境の改善提言と実施(適正診断の受診、危険箇所抽出マップの作成、入社時教育、KYT教育、作業基準書教育)				4.4				8.8									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施(年1回)し、希望者に外部医療機関医師による面接指導を実施							3										
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性ドライバーの採用及び労働環境の整備 ・勤務体系や制度の整備(短距離輸送、早朝・夜間運行なし、自主荷役のない配送業務の確保、急な休みへの対応) ・ハラスメント相談窓口設置 ・時短勤務、リモートワークの採用					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・社内外研修の参加 ・公的資格(日商簿記、運行管理者、衛生管理者、危険物取扱者等)の取得支援 ・公的資格取得表彰制度の制定				4	5.5			8	9								
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・定期健康診断の実施(夜間勤務者は年2回) ・保険指導の活用 ・「健康経営優良法人」の認定 ・インフルエンザワクチン接種 ・AEDを設置し、外部講習に参加 ・血圧計の設置 ・社内レクリエーションによる健康増進				3				8									
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・グリーン経営認証登録 ・ごみの分別、リサイクルの実施 ・ペーパーレス化への取組(入出庫・在庫管理業務のシステム化) ・事務用品の再利用、リサイクルトナー購入 ・産業廃棄物の分別及び再利用(鉄くず、廃油、廃タイヤ)														11.6 12.4 12.5	14.1		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・節電対策 ・クールビズの実施								7.3								13							
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・倉庫や事務所の照明器具をLED照明へ切替 ・新長期排ガス規制適合車の導入 ・CO2排出量削減や低燃費の実現のためのエコドライブ推進 ・エコタイヤの導入 ・トラックに蓄冷エアコンを設置しアイドリングストップ実施 ・蓄熱式寝袋利用によるアイドリングストップ実施 ・バッテリーリフトを使用(化石燃料を不使用)								7.2 7.3				12.4	13.3										
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・空調機のフロンガス定期点検(定期点検/3年毎、簡易点検/3ヵ月毎)			3.9			6.3						11.6	12.4										
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・化石燃料削減(トラックの軽油削減) ・FSC認証マークの製品を購入						6.6												15					
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・浄化槽11条検査・月次点検・清掃を実施 ・4回/年、洗車場側溝内の清掃実施						6.4 6.6																	
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・グリーン経営認証制度への登録			3.9			6	7					12	13.3	14	15								
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・環境の取り組みに関する情報を当社HPで掲載												12.6											
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・倉庫の屋根のスペースを有効活用し、太陽光発電設備(1,997KW)を稼働している								7.2								13							
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる																								
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・デジタル化・省力化を推進し、職場の負荷を軽減 ・サービス維持・向上のための教育										8	9												
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・コンプライアンスを遵守したサービスの提供 ・顧客の環境方針に沿ったサービスの提供																			9				
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・RO-RO船輸送によるCO2排出量の削減							6						12	13	14	15							
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・RO-RO船輸送により、トラックドライバーの時間外労働上限規制(2024年問題)に対応した社会の実現に貢献 ・コンプライアンスを遵守したサービスの提供 ・顧客の環境方針に沿ったサービスの提供 ・配車部門統合		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4							9	11	12		14	15						17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地元開催の花火大会、お祭りへの寄付																							
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・トラックの修理・消耗品購入など現地取引先のサービスを利用する										8	9		11	12	13								

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	・SDGsの達成に向けた目標を社内でも共有し、共通認識をはかる																12.6									
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・コンプライアンス規程、社員の倫理事項を制定し社員教育を実施																12.6									16
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・緊急連絡体制の設定																									16
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・コミュニケーションの継続 ・コンプライアンス遵守																								16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・リスクアセスメント・マネジメントの実行 ・適切な運行管理のもと運転手の休憩時間、休憩時間を確保 ・全車両にデジタコ・ドラレコの搭載 ・毎月安全会議を実施し、事故防止の呼びかけ ・ドライブレコーダーの記録を活用した安全教育 ・輸送安全マネジメントの構築 ・輸送マニュアルの整備																									16
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・各種規程・社内研修・相談窓口制度 ・コンプライアンス規程、ハラスメント防止規程 ・法令/社会倫理/情報倫理の遵守																									16
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・輸送安全マネジメントの構築 ・輸送マニュアルの整備 ・緊急連絡体制の更新・掲示 ・グループラインを活用した連絡体制																									16
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・運営計画マネジメントレビュー実施 ・経営体制の見直し ・社員の教育体制の確立(管理職向け外部研修、新入社員向け外部研修等) ・定期的な採用活動																									16

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】
 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
 ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
 ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。